※令和４年度以降入学生用

学校番号	1004

令和５年度　芸術(書道)科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（教育出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基本的な用筆、運筆を学びながら、小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて様々な表現方法を学びましょう。
・楷書、行書、仮名等を学習し、表現の幅を広げましょう。
・提出物、課題に取り組む姿勢が評価の大半を占めます。毎回の授業に積極的に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	オリエンテーション・書写から書道へ	・授業の受け方についての確認。 ・小・中学校国語科書写で学習した、基本的な知識・技能を確認する。 ・古典の臨書を通して技法を学び、表現にいかす学習方法について理解する。	a:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現している。 b:書写と書道の類似点・相違点について理解し、書のよさを味わっている。 c:書写と書道の類似点・相違点について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート
	漢字の書	・楷書 唐の四大家による古典の文字を比較し、書風の違いを感じ取る。 「九成宮醴泉銘」 欧陽詢 「孔子廟堂碑」　虞世南 「雁塔聖教序」　褚遂良 「顔氏家廟碑」　顔真卿	a:臨書を通して、それぞれの作品の字形や線質、点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を身に付けている。 b:それぞれの書風を的確にとらえ、その美を感受している。 c:それぞれの書風に関心を持ち、その美を味わおうとしている。 鑑賞を通して、それぞれの書風とそれを形成する表現の要素を理解している。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート
	うちわ制作	・語句の選定 ・草稿作成 ・楷書の書風についての学習 ・作品制作 ・作品の装飾	a:漢字の書の創作に関心を持ち、楷書の古典の学習を通して習得した書風やその用筆・運筆の技法に関する知識を生かし、表現している。 b:表現のねらいを明確に定め、すでに学習した古典の特徴をもとに作品の構想を練っている。 文字の書風や語句との調和を考えながら、色紙などを用いた装飾を考え、工夫して表現している。 c：創作作品を互いに鑑賞し、批評しあうことで、表現の意図と技法の効果について相互に理解を深めている。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2	漢字の書	・行書 行書の特徴を理解する。 「蘭亭序」の鑑賞・臨書を通して、行書の用筆・運筆の技法を理解する。	a:行書の成立過程や、字形や用筆の特徴について、主体的に確認している。 臨書を通して、蘭亭序の線質や点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を習得している。 b:鑑賞を通して、蘭亭序の書風とそれを形成する表現の要素を理解し、臨書に生かしている。 c: 書聖・王羲之と「蘭亭序」の書道的価値や、諸本の発生の経緯を理解したうえで、「蘭亭序」の書風を的確に捉え、その美を感受している。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート
	カレンダー制作	・語句の選定 ・文字調べ ・草稿作成 ・作品制作 ・鑑賞	a: 古典の学習を通して習得した、書体や書風、その用筆・運筆の技法、用具、用材や紙面構成に関する知識を生かし、工夫して表現している。 b:表現のねらいを明確に定め、これまでに学んだ古典をもとに、作品の構想を練っている。 c: 漢字の書の創作に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。創作した作品を互いに鑑賞し、批評しあうことで、表現の意図と技法の効果について理解を深めている。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3	仮名の書	・仮名の成立過程 ・仮名の基本線 ・いろは ・連綿 ・変体仮名 ・「蓬莱切」 ・「高野切第三種」 ・・短冊作品制作	A: それぞれの書の字形を的確にとらえ、それぞれの文字に適した用筆・運筆を習得している。 b: 臨書を通して、仮名の線や美や平仮名と変体仮名の調和をより深く感受している。 平仮名と変体仮名を使い分けることで、表現の幅が広がることを理解し、鑑賞や臨書に生かしている。 c: 平仮名と変体仮名の使い分けによる表現効果に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート
	漢字仮名交じりの書	・語句の選定 ・文字調べ ・草稿作成 ・作品制作 ・鑑賞	a: 平仮名の単純化された筆使いを身に付け表現している。 一番省略された用筆法や単純化された平仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫している。 b: 漢字と仮名の文字を字形について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 c: 漢字と仮名の調和について、言葉と書風の調和や表現の多様性について関心をもち、主体的に創造的活動に取り組もうとしている。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度